

令和3年5月7日
岐阜県病虫害防除所

ネキリムシ類（カブラヤガ）に注意してください（飛騨地域）

1. 発生状況

- (1) 令和3年3月24日から高山市丹生川町に設置したフェロモントラップにおいて、4月上旬から本虫が多く誘殺され、4月の総誘殺数は186.3頭であった。また、一部のかぼちゃ栽培ほ場で幼虫の食害被害の発生を確認した。
- (2) 図1から、雄成虫の誘殺ピークを4月第1半旬として、有効積算温度と気温データにより試算すると、4月20日頃から加害が始まっていると推測される。

2. 防除対策

- (1) 本虫は地表近くに産卵し、幼虫は雑草などを餌として生育するため、周辺雑草の管理やほ場内雑草のすき込み等を行う。
- (2) 本虫の食害を防止するため、5月に播種・定植する場合は薬剤防除を適切に行う。
- (3) 施設栽培では、本虫の侵入を防止するため防虫ネット等の設置を行う。なお、設置の際はハウス上部だけでなく下部にも隙間ができないように注意する。

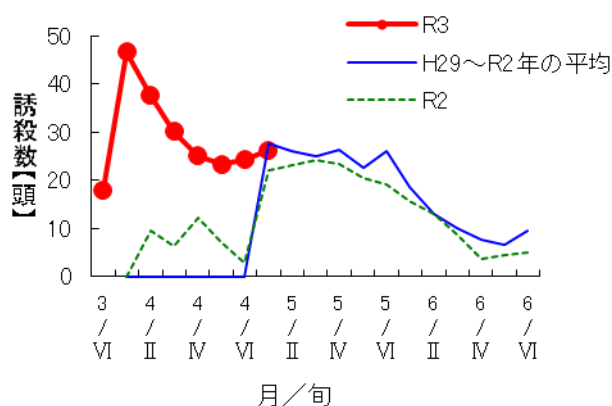


図1 フェロモントラップによるカブラヤガ雄成虫誘殺数の推移（高山市丹生川町）



図2 ネキリムシ類による被害

- ・農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。
農林水産省HP 農薬登録情報システム
<https://pesticide.maff.go.jp/>
- ・当所のホームページに発生予察情報、病虫害調査データなどを掲載していますのでご活用ください。
<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321>